◆◆メールマガジン「事業用自動車安全通信」第１４２号(H24. 4. 20)◆◆

＝はじめに＝

このメールマガジンは、国土交通省において収集した事業用自動車に関する事故情報等のうち重大なものについて、皆様に情報提供することにより、その内容を他山の石として各運送事業者における事故防止の取り組みに活用していただくことを目的として配信しています。

＝目　次＝

１．重大事故等情報＝５件（４月１３日～４月１９日分）
（１）乗合バスの車内事故
（２）タクシーが歩行者の男性を撥ねた事故
（３）タクシーが自転車の男性を撥ねた事故
（４）タクシーが歩行者を撥ねた事故
（５）トラックの運転者が救護義務違反の疑いで逮捕
２．安全指導業務（適性診断・運行管理に関する講習）への民間参入を促進します。（再周知）
３．トラック、バス、タクシーの安全教育マニュアルをつくりました。（再周知）
４．平成２４年度の自動車運送事業者における先進安全自動車（ＡＳＶ）の導入、運行管理の高度化及び社内安全教育の実施に対する支援のための補助制度を開始します。（再周知）
５．平成２４年度事故防止対策支援推進事業（社内安全教育に対する支援）のコンサルティングの認定申請を開始します。（再周知）
６．トラック追突事故防止マニュアルを公表しました！（再周知）

◇◇◇

４月１３日（金）午前１時２０分頃、千葉県において、同県に営業所を置くタクシーが乗客１名を乗せて運行中、交差点を直進しようとしたところ、当該タクシーから見て右側から飛び出してきた歩行者の男性を撥ねた。

この事故により 撥ねられた男性が死亡した。

当該交差点には押しボタン式の信号機が設置されていたが、事故当時の当該信号機の状況については不明。

（３）タクシーが自転車の男性を撥ねた事故

４月１４日(土)午前１時３０分頃、岡山県において、同県に営業所を置くタクシーが空車で運行中、交差点を直進しようとしたところ、当該タクシーから見て右から走行してきた自転車の男性を撥ねた。

事故後、当該タクシーの運転者は、当該男性を救護するため当該タクシーを第二車線側に停車し、当該男性に向かったところ、後方から走行してきた軽自動車に撥ねられた。

この事故により、当該タクシーに撥ねられた男性が死亡、当該タクシーの運転者が重傷を負った。

事故当時、天候は雨で視界は悪かった模様。

なお、当該交差点には当該タクシー側に黄色の点滅信号が設置されているのみであった。

（４）タクシーが歩行者を撥ねた事故

４月１８日(水)午前８時３０分頃、福岡県において、同県に営業所を置くタクシーが乗客１名を乗せて運行中、横断歩道を横断していた歩行者を撥ねた。

この事故により、撥ねられた歩行者が死亡した。

事故現場は、押しボタン式の信号機が設置された横断歩道で、当該タクシーの運転者は、対向車線の渋滞の車列の隙間から当該歩行者が急に飛び出してきたと話しており、当該歩行者側の信号は赤信号であった模様。

（５）トラックの運転者が救護義務違反の疑いで逮捕

４月１７日（火）午前１時頃、長野県において、同県に営業所を置くトラックが走行中、路上に倒れていた男性を轢いた。

この事故により、轢かれた男性が死亡した。

なお、当該トラックの運転者は、乗務後点呼の際に、運行管理者に「小動物かタイヤを踏んだ」と報告していた。

当該運行管理者は、翌日（１８日）の新聞に掲載されたひき逃げの記事が、前日に当該運転者から報告があった場所と一致することに気付いたことから、当該運転者に確認したところ､｢よくわからない｣との回答であったが､その後、当該運転者から、記事になったひき逃げに関連があるかもしれないとの報告を受けたため、警察に連絡した模様。

当該トラックの運転者は、その後の警察の調べにより道路交通法違反「救護

義務違反」の疑いで逮捕された。

◇◇◇

こととなりましたのでお知らせします。
〇補助対象事業者、補助対象機器、申請方法等、補助制度の内容につきましては、以下のリンク先をご覧下さい。
① 先進安全自動車（ＡＳＶ）の導入に対する支援
（http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/01asv/esc_24.html）
② 運行管理の高度化に対する支援
（http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr2_000012.html）
③ 社内安全教育の実施に対する支援
（http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr2_000013.html）

◇◇◇

・[第２分冊]トラックの追突事故を防止するための課題整理と対策検討
　別冊１：経営トップ向け指針
　別冊２：現場管理者向けマニュアル
　別冊３：ドライバー向けマニュアル　　など
・[第３分冊]社会的影響の大きい重大事故の要因分析

※報告書本体については、以下のリンク先をご覧下さい。
(http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03analysis/examination.html)

◇◇◇

◆◆◆